



平成24年6月29日

各 位

会 社 名 **株式会社インテリックス**  
代 表 者 名 代表取締役社長 山本 卓也  
(コード8940 東証第二部)  
問 合 せ 先 専務取締役  
管理部門担当 鶴田 豊彦  
T E L 03-5766-7639

### 業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成24年6月29日開催の取締役会におきまして、平成23年12月16日付け公表の平成24年5月期（平成23年6月1日～平成24年5月31日）の通期業績予想および期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 平成24年5月期 通期 業績予想の修正（平成23年6月1日～平成24年5月31日）

##### 【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年12月16日公表)	百万円 27,999	百万円 748	百万円 121	百万円 75	円 銭 999 79
今回修正予想(B)	27,572	528	△64	△118	△1,575 20
増減額(B-A)	△426	△219	△185	△194	—
増減率	△1.5%	△29.3%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年5月期)	26,819	1,343	767	556	7,387 01

(ご参考)

##### 【個別】

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年12月16日公表)	百万円 27,888	百万円 58	百万円 41	円 銭 552 45
今回修正予想(B)	27,449	△162	△144	△1,918 88
増減額(B-A)	△439	△221	△186	—
増減率	△1.6%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年5月期)	26,660	660	492	6,536 38

## (2) 業績予想修正の理由

首都圏の中古マンション市場における成約件数は、(財)東日本不動産流通機構によると、当社決算期間(平成23年6月～平成24年5月)において、前期に比べ2.7%増加いたしました。これは、前期に東日本大震災が発生し、取引が大きく落ち込んだ時期があったことによる反動であります。また、成約価格につきましては、1年間のうち10カ月が前年同期を下回り下落基調が続いており、平成24年5月では前年に比べ3.2%下回りました。外部環境として、欧州債務問題や円高の長期化により景気の不透明感が増しており、中古マンション市場においても底打ち感がまだみられない状況であります。

当社グループでは、当期において、震災前後に仕入れた物件の早期売却、新たな物件へ入れ替えを促進することで、在庫リスクの低減を図ってまいりました。

主たる事業でありますリノベーションマンションの販売は、不透明な景況感を反映し販売件数が計画には及ばず、加えて、販売価格も相場下落にともない価格調整を更に進めたことで、当事業の売上高は想定を下回る見通しとなりました。一方で、その他不動産事業において、下期に収益物件の売却が想定を上回り売上寄与したものの、リノベーションマンション販売の未達部分を補うには至らず、全体の売上高は予想を下回る見通しとなりました。

また利益面では、下期においてその他不動産事業の収益寄与があったものの、リノベーションマンションの販売件数の未達や在庫の健全化に向けて棚卸評価損を増額計上したこと等から、各利益とも予想を下回る見通しとなりました。

以上によりまして、当期通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 平成24年5月期 配当予想修正の内容

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		800	800
今 回 修 正 予 想		0	0
当 期 実 績	0		
前 期 実 績 (平成23年5月期)	1,500	800	2,300

### (2) 配当予想修正の理由

平成24年5月期通期の業績が、上記のとおり当期純損失を計上する見込みでありますことから、平成24年5月期期末配当予想につきましては、誠に遺憾ではございますが見送りとさせていただきます。

以 上

(注) 本資料に記載しております予想数値は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。